

---

虚を穿つ transparency glasses/murder moon knife

天之鎖香月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

虚を穿つ transparency glasses / murder moon knife

### 【Nコード】

N7140D

### 【作者名】

天之鎖香月

### 【あらすじ】

生粋の殺人鬼、 姫神夜宵が一人の魔法使いの女に出会う時、  
物語の歯車は音を立てて廻り、舞台の幕を開ける。 全ては「  
虚」へと。

## ブローグ／紅世狂界・序（前書き）

もしかしたら過激な描写があるかもしれませんが、お気を付け下さい。

## プロローグ／紅世狂界・序

「ソラ」を視た。

「ソラ」の色は真っ赤だ。まるでせかいを焼き尽くす炎の様な「アカ」。

「ソラ」の真ん中にはまあるいオレンジ。

オレンジが「ソラ」を「アカ」に染めていく。そして、この部屋もやがて、「アカ」に塗り潰される。

けれど、オレンジが「ソラ」を「アカ」に染める前に、部屋は既に「アカ」い。

それは、オレ／僕が部屋を「アカ」くしたから。生まれて初めて自分の手で生み出した色、ソレが「アカ」。絵の具より濃く、世界を色付ける鮮やかな「アカ」。

アア、ヒトは自身でこんなにも素晴らしい「アカ」を創り出せるのか。

「ソラ」を染める「アカ」と部屋を塗り潰す「アカ」。自然と人工が調和された「セカイ」を美しいと感じて仕舞っていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7140d/>

---

虚を穿つ transparency glasses/murder moon knife

2010年10月9日23時17分発行